

2013 <A03 班>

【受賞】リスト

研究代表者：今井 宏明

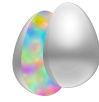
1. 茨城俊介, 伊勢隆太, 緒明佑哉, 今井宏明, 第37回 結晶成長討論会 若手ポスター賞, “二クロム酸カリウム結晶におけるねじれ成長のその場観察によるメカニズムの解明”, 日本結晶成長学会 第37回結晶成長討論会, 長野勤労者いこいの村アゼリア飯綱, 長野, 2013年9月27日.
2. 玉置晴菜, 渡辺洋人, 緒明佑哉, 今井宏明, 第3回 CSJ 化学フェスタ 2013 優秀ポスター発表賞, “スーパーマイクロポーラスシリカを鋳型とする酸化銅 (II) 量子ドットの合成と特性評価”, 日本化学会秋季事業 第3回 CSJ 化学フェスタ 2013, タワーホール船堀, 東京, 2013年10月23日.
3. 橋本康夫, 緒明佑哉, 細野英司, 周 豪慎, 今井宏明, 第3回 CSJ 化学フェスタ 2013 優秀ポスター発表賞, “水溶液プロセスによるケイ酸鉄リチウムの合成と形態制御”, 日本化学会秋季事業 第3回 CSJ 化学フェスタ 2013, タワーホール船堀, 東京, 2013年10月23日.
4. 本田真志, 緒明佑哉, 今井宏明, 第3回 CSJ 化学フェスタ 2013 優秀ポスター発表賞, “非極性有機媒質に分散可能な酸化マンガンモノレイヤーの合成”, 日本化学会秋季事業 第3回 CSJ 化学フェスタ 2013, タワーホール船堀, 東京, 2013年10月23日.
5. 今井宏明, 第68回 (平成25年度) 日本セラミックス協会賞学術賞, “バイオミネラルに着想を得たセラミックス合成プロセスの深化と応用”, 公益社団法人日本セラミックス協会, 2013年11月29日. (2014年6月6日表彰予定)

研究代表者：片桐 清文

1. 佐古 香 (犬丸 啓・片桐清文研究室), 奨励賞, “オレイン酸修飾ナノ粒子をコアとしたコア-シェル粒子のシェル厚の制御”, 第20回ヤングセラミストミーティング in 中四国, 岡山, 2013年12月21日.
2. 佐古 香 (犬丸 啓・片桐清文研究室), 優秀ポスター発表賞, “シリカをベースとした機能性コア-シェル粒子の作製とキャラクター化”, 日本セラミックス協会 第26回秋季シンポジウム 特定セッション「革新的ナノハイブリッドマテリアル～機能の融合を目指した材料設計～」, 長野, 2013年9月6日.

研究分担者：富田 恒之

1. 富田恒之, 2013年度松前重義賞学術部門 松前重義学術奨励賞, “溶液化学的



2015年2月6日

プロセスによる光機能材料の精密合成と高機能化”, 学校法人東海大学, 2014年1月15日.

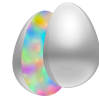
2. 高杉壮一, 成瀬則幸, 冨田恒之, ベストポスター賞, “溶液プロセスによる無機機能微粒子材料の形態制御” 東海大学マイクロ・ナノ啓発会第2回学術講演会, 神奈川, 2014年2月25日.
3. 古江美和子 (冨田恒之研究室), 優秀発表賞, “色素増感太陽電池に向けた二酸化チタンの合成”, 融合マテリアル第8回若手スクール, 愛知, 2013年11月24-26日
4. 成瀬則幸 (冨田恒之研究室), 講演奨励賞, “均一沈殿法を用いたナノからマイクロ無機蛍光体材料の合成と形態制御”, 無機マテリアル学会第127回講演会, 山形, 2013年11月14-15日.
5. 小川哲志 (冨田恒之研究室), 奨励賞, “水溶液プロセスによる希土類-Nb/Ta 複合酸化物アップコンバージョン蛍光体の合”, 第29回日本セラミックス協会関東支部研究発表会, 埼玉, 2013年9月11-12日.

研究代表者：竹岡 敬和

1. 竹岡敬和, 永井科学技術財団学術賞, “白い粒子と黒い粒子から得られる様々な色の顔料の調製”, 永井科学技術財団, 2014年3月10日.

研究代表者：長崎 幸夫

1. ハイライト講演: 松村卓馬, 矢口達也, 池田 豊, 吉富 徹, 平山 暁, 植田敦志, 長崎幸夫, “慢性腎不全の治療を目指した腹膜透析用シリカ含有レドックスナノ粒子の作製と評価”, 第35回日本バイオマテリアル学会大会, タワーホール船堀, 東京, 2013年11月25日. (400件中20件).
2. Babita Shashni, Karun Sharma, Rumani Singh, Kishore R Sakharkar, Sarinder K. Dhillon, Yukio Nagasaki, and Meena K. Sakharkar, Recognition of Excellence, “Coffee Component Hydroxyl Hydroquinone (HHQ) as a Novel Ligand for PPAR Gamma and its Therapeutic Implication in Breast Cancer”, 6th Korea-China-Japan Graduate Student Forum, University of Chungnam, Daejeon, Korea, Sep. 5, 2013.
3. Magdalena Bednarowicz, Toru Yoshitomi, Magdalena Hałupka-Bryl, Bernadeta Dobosz, Ryszard Krzyminiewski, Yukio Nagasaki, ポスター賞, “pH-Sensitive Radical-Containing-Nanoparticles (RNPs) for Rheumatoid Arthritis Treatment”, 2nd Nanosymposium on Nanomaterials Organizational Summary, Adam Mickiewicz University, Poznań, Poland, June 18, 2013. (50件中2件).
4. 金子純也, プア ミンリー, 吉富 徹, 長崎幸夫, 優秀演題賞, “局所抗炎症を目指した ROS 消去能と殺菌作用を併せ持つレドックスインジェクタブルゲル



2015年2月6日

の開発”, 第 66 回日本酸化ストレス学会学術集会, ウィンクあいち, 名古屋,
2013年6月14日.

研究代表者：酒井 秀樹

1. Azusa Okazawa, Yutaro Kinoshita, Takeshi Endo, Masahiko Abe, Hideki Sakai, Poster Award, ACCIS 2013, “Ionic Liquid Assisted Synthesis of Titania Wires by Sol-Gel Method”, 5th Asian Conference on Colloid and Interface Science, Darjeeling, India, November 22nd, 2013.
2. 岡澤 梓, 木下雄太郎, 三園武士, 遠藤健司, 酒井健一, 酒井秀樹, 阿部正彦, 色材協会優秀講演賞, “疎水性イオン液体 $BminPF_6$ 中におけるチタニアワイヤーの調製”, 色材協会 85 周年記念会議, 東京, 2013年10月24日.

研究代表者：小柳津 研一

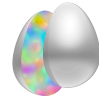
1. 西出宏之, 小柳津研一, 科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞, “ラジカル高分子の創製と電荷輸送および蓄電素子に関する研究”, 文部科学省, 2013年4月15日.
2. 高橋瞭介 (西出宏之・小柳津研一研究室), 最優秀ポスター発表賞, 第3回 CSJ 化学フェスタ, “電解重合性ビオロゲン-インドリン色素連結分子の光電変換特性および充放電特性”, 日本化学会, 2013年10月21-23日.
3. 吉政慶介 (西出宏之・小柳津研一研究室), 優秀ポスター発表賞, 第3回 CSJ 化学フェスタ, “高エネルギー密度を有するポリフルオレノン電極活物質の合成とその電荷貯蔵特性”, 日本化学会, 2013年10月21-23日.
4. Issei Masuko (西出宏之・小柳津研一研究室), Poster Award, The 13th Pacific Polymer Conference, “Synthesis and Electrochemical Property of Polynorbornene-Graft-Poly(TEMPO Methacrylate) for a Cathode-Active Material”, Kaohsiung, Taiwan, November 17-22, 2013.

研究代表者：尾崎 雅則

1. 李 成煥, 藤井彰彦, 尾崎雅則, “液晶性有機半導体を用いた相互浸透構造型薄膜太陽電池の作製”, 電気学会優秀論文発表賞, 2013年11月16日.

研究代表者：長崎 健

1. Riku Kawasaki, Koji Ono, Shin-ichiro Masunaga, Yoshinori Sakurai, Mitsunori Kiri-hata, Hideki Azuma, Takeshi Nagasaki, Best Poster Award, “Anti-Tumor Effect



2015年2月6日

of Kojic Acid Appended O-Carborane as a Novel Boron Agent For BNCT”, The 5th Asian Arden Conference, Aichi Gakuin University, Nagoya, Japan, Aug. 5, 2013.

研究代表者：宮田 隆志

1. 白木裕介, 宮田隆志, 吉田 亮, エクセレントポスター賞, “自律輸送機能を有した管状自励振動ゲルの作製とその応用”, 第59回高分子研究発表会(神戸), 兵庫県民会館, 神戸, 2013年7月12日.
2. 松本和也, 河村暁文, 浦上 忠, 宮田隆志, ゲルワークショップポスター賞, “標的分子に応答するポリペプチドゲルの合成”, ゲルワークショップイン加賀, 石川, 2013年9月13-14日.
3. 栗生芳明, 河村暁文, 浦上 忠, 宮田隆志, 学生奨励発表 優秀賞, “動的認識サイトを形成させた刺激応答性ゲルの分子認識制御”, 第51回 高分子と水に関する討論会, 東京工業大学, 東京, 2013年12月9日.

研究代表者：星野 友

1. 星野 友, 平成24年度研究奨励賞, “分子認識能を有する高分子ナノ粒子の開発”, 公益社団法人高分子学会, 2013年5月30日.
2. 星野 友, 第2回新化学技術研究奨励賞, “プロトンポンプを模倣した熱駆動プロトン輸送膜の開発”, 公益社団法人新化学技術推進協会, 2013年5月30日.
3. 今井健太, 化学工学会第45回秋季大会 材料・界面討論会ポスター賞, “相転移型ビニルアミン含有ポリマーを用いた二酸化炭素吸収剤の開発”, 化学工学会 第45回 秋季大会, 岡山大学, 2013年9月16日.
4. 仲本正彦, 第24回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会優秀ポスター賞, “高ターンオーバー人工シャペロンの開発”, 第24回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 別府, 2013年7月27日.
5. 仲本正彦, 新学術領域研究「融合マテリアル」 第9回 若手スクール, ポスター賞, “ナノゲル粒子への標的分子結合動力学に基づく機能発現”, 新学術領域研究「融合マテリアル」, 広島, 2014年1月27日.